



登米高通信

宮城県登米高等学校 《基本方針》

- ◇ 確かな**学力**を身に付け、生徒の志望を**達成**させる
- ◇ 社会人として**自立**できる**人間**づくり
- ◇ 生徒 保護者 地域から**信頼**され、**選ばれる**学校づくり



2020年 創立100周年

TOME HIGH SCHOOL

《目指す生徒像》= 将来にわたって活躍できる**土台**を備え、**地域**を支える人材の**育成**



校訓 誠実 勤勉 進取

《令和2年3月号》
3月25日発行

ブログ等でも随時情報を発信しております。ホームページもぜひご覧ください。 <https://tome-h.myswan.ed.jp/>

3年間の思い出とともに

第72回卒業式を挙行

3月1日（日）に第72回卒業式が挙行されました。今年は新型コロナウイルスの影響のため、急遽規模を縮小して行わざるを得ませんでしたが、普通科卒業生115名が晴れて卒業証書を授与され、無事それぞれの新天地へ旅立っていきました。

式辞として鈴木秀利

校長より「志をもち、利他に生きてもらいたい」との饒の言葉があり、在校生として唯一出席した及川純武君が「伝統を受け継ぎ、100年の歴史を途切れさせず、新たな気持ちで取り組んでいく」と送辞を述べてくれました。卒業生代表として大澤拓君が「夢に向かって努力し続ける。成長を見守ってもらいたい。」と答辞を述べ、卒業後の決意を表してくれました。



感染予防のため出席者全員がマスクを着用



鈴木秀利 校長の前で答辞を述べる 大澤拓 君

前々日の2月28日（金）には3年間の皆勤賞18名と精勤賞12名が表彰されました。およそ4人に1人という多くの生徒が皆勤賞・精勤賞を受賞しており、卒業生たちが充実した高校生活を送ってくれたことの1つの証といえるでしょう。

登米高の3年間で磨き上げた「登高魂」を忘れずに、卒業生たちが社会ですばらしい活躍をすることを期待しましょう。

《3ヶ年皆勤賞（18名）》

組	受賞生徒（敬称略）		
1組	高泉茉悠		
2組	菅原晃平	川村沙弥	後藤沙耶
	小俣日向歩	佐々木優桜	田中菜々香
3組	佐々木郁哉	高橋玲雄	千葉魁士
	千葉弘樹	佐藤留綺	千葉麻利奈
4組	塩口拓也	鈴木溪太	高橋純平
	佐藤真生	首藤瑠華	

《進路決定一覧》

（3月10日現在）

	男子	女子	計
4年制大学	12名	9名	21名
短期大学	0名	12名	12名
専門職大学	1名	0名	1名
省庁管轄校	2名	0名	2名
看護専門	0名	2名	2名
専門学校等	20名	28名	48名
民間就職（管内）	8名	4名	12名
民間就職（県内）	1名	4名	5名
民間就職（県外）	2名	3名	5名
公務員	3名	1名	4名
進学準備・臨時的任用希望	2名	1名	3名
合計	51名	64名	115名

同窓会入会式 新幹事委嘱

2月28日（金）には同窓会入会式も行われました。佐々木康明 同窓会長から新たに常任幹事8名の委嘱が行われたのち、竹内信男 副会長からは同窓会入会者へ歓迎と激励の言葉がありました。



2020年度はいよいよ創立100周年となる登米高校、若い同窓生の方で大切に盛り上げてほしいと思います。

《同窓会 令和2年卒 常任幹事8名（◎は代表幹事）》

1組	岩淵 健太	浅田 りな
2組	尾形 悠真	五嶋 優水
3組	◎猪又 篤	阿部 志音
4組	佐々木 雄輔	伊藤 汐里

日本文化でおもてなし 台湾の高校と学校交流

2月6日（木）に台湾の台中市立大里(ウーリ)高級中学修学旅行団と本校の学校交流会が行われました。これは、宮城県観光連盟が実施している訪日教育旅行受入支援を活用した企画で、本校では初めての試みでした。

基本的に英語でコミュニケーションを取らなければならないため、来校するまでは生徒たちも緊張していましたが、歓迎会が始まるとすぐに打ち解けたようでした。台中市立大里(ウーリ)高級中学の31名の生徒には、登米高校生たちが事前に一生懸命準備してくれていたことが伝わったようで、日本流の「おもてなし」に満足してくれたようでした。登米高校生たちにとっても、片言ながらも英語とジェスチャーで海外の高校生としっかりコミュニケーションがとれたという経験は大きな財産となったはずです。



生徒会主催による歓迎会後の記念写真
すでに生徒同士で打ち解けている雰囲気でした。



授業体験では家庭科として郷土料理のはっと汁と一緒に調理しました。黒板には登米高校生たちの歓迎のメッセージがありました。

もう一つの授業体験では体育としてバスケットボールを実施しました。男女・日台混合チームながらも息の合ったプレーが見られました



日本文化体験として、茶会と折り紙体験を実施しました。折り紙体験では、事前に折り方の練習をしていたこともあり、和やかな雰囲気と一緒に折鶴を作っていました。また、茶会は体験する台湾の高校生はもちろんですが、おもてなしをする茶華道部員も海外の方は初めてということもあり、どちらも緊張しながらも貴重な体験となりました。



第3回進路を考える日

2月7日（金）に第3回「進路を考える日」を実施しました。今回は志望進路別に分かれての講話の他に、卒業間近の3年生が講師として自らの体験を交えながら後輩に進路達成の秘訣を伝える先輩講話もあり、1・2年生は真剣な表情で聞いていました。また、1年生は12月に行ったインターンシップの発表会、2年生は志望理由や履歴書を実際に書いてみるということも行いました。



今年度の進路を考える日はこれが最後となりましたが、生徒の多様な進路に対応するために、登米高校ではこれからも様々な進路指導を展開していきます。

登米の文化と歴史を学ぶ 伊達宗弘氏による「登米講座」を開講

2月17日（月）に登米伊達家第16代当主の伊達宗弘氏を講師に、1年生を対象とした「登米講座」を実施いたしました。17世紀の登米開府前後の話など、地元の歴史について初めてわかったという生徒もあり、地元登米を知る良い機会となりました。



登米高トピックス

ブログ等でも随時情報を発信しております。
ホームページもぜひご覧ください。

みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会に2名参加

1月25日（土）～26日（日）に多賀城市文化センターと多賀城高校を主会場に、みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会が1泊2日の



発表に向け阿部政文先生
から指導を受ける2名

日程で開催され、本校から及川純武君と千葉遥斗君の2名が参加しました。登米高校のハザードマップの作成や災害時の役割などについて発表を行ってきた2人は、今後は防災ジュニアリーダーとして登米高校の防災意識を高めることに貢献してくれるはず。

ヴォイストレーニングセミナー

2月25日（火）に2学年就職希望者を対象にヴォイストレーニングセミナーを実施しました。講師としてヴォイス&トーク代表 赤間裕子様をお招きし、マナーや発声について実践を多く取り入れながら細かく教えていただきました。

